中国四国産業人クラブ

エネ問題 活動の柱

勉強・講演・見学会 続々と

太陽光・風力・地熱 内外の施設を訪問

中国四国産業人クラブ（田村興造会長＝広島ガス社長）は毎年、研究所、工場の見学会をはじめ、親睦交流会、シンポジウム、海外産業視察研修、伝統芸術鑑賞会、親睦ゴルフ大会など多彩な事業を実施している。

■表彰事業

主要行事の一つ、学生のビジネスアイデアを募集、表彰する「キャンパスベンチャーグランプリ中国」と「キャンパスベンチャーグランプリ四国」を、中国経済連合会、四国経済連合会と共同開催し、ともに10年以上連続開催となる。地域の大学や高等専門学校の学生、教師らに広く認知され、定着しつつある。応募研究、アイデアも年を追って充実、優秀なアイデアが集まり、地域での起業機運の高まりや経済のメンタル的な活性化にも貢献している。

■先端研究視察

先端研究機関の視察では、ここ3年間、毎年、産業技術総合研究所（産総研）中国センターのコーディネーターで、産総研つくばセンターを訪問している。工場見学では、JFEスチール西日本製鉄所、ディスコ、ナカシマプロペラなど地元企業のほか、関西、九州、四国、それに2012年度は被災地・福島、宮城の工場を見学した。

仙台市では、被災された地元企業の経営者に当時の様子を語ってもらい、「大津波の爪痕と悲劇を共有することができた」（参加企業）。今後も引き続き、産業人クラブとしても、被災地の企業と企業経営者とのつながりを深める努力をしていく方針だ。

九州電力・八丁原地熱発電（大分県）の見学会

10月にハワイ島発電所 見学

海外研修を毎年実施している（11年9月のクロアチア市場見学会）

■懇親・交流会

さらに、伝統文化芸術、実務セミナー、海外研修、他クラブとの懇親・交流会にも力を入れている。恒例の愛媛・内子座での人間国宝が演じる文楽の鑑賞と、香川・金丸座での有名歌舞伎役者が出演する歌舞伎鑑賞会には、多数の会員が参加する。四国巡礼や別格霊場二十カ寺巡拝もローテーションを組み、恒例行事にしている。

一方、海外研修は、アジア、ヨーロッパを中心に毎年実施している。訪問した各国での交流や見聞を広め、参加会員が相互に理解し合い、交流を活発化、意義あるものとなっている。

■今年度重点活動

こうした中、中国四国産業人クラブは2013年度の活動方針に、従来の情報交換、交流会、人材育成に加え、「エネルギー問題」を柱の一つに掲げた。すそ野の広いテーマだが勉強会、講演会、工場見学会などを通じて、わが国のエネルギーのあり方の一端でも理解してもらうのが狙いだ。

エネルギー問題は業種、業態を問わず、好むと好まざるにかかわらず、産業・経済活動において避けては通れない。

「福島の悲劇」と「企業の生産活動・われわれの日々の生活」という相反する課題にどう向き合い、どう対応すべきかが問われている。長期にわたる原発停止は、計り知れない影響を及ぼしている。これに原油価格と連動する燃料費調整制度、新エネルギーなどの固定価格買い取り制度が加わり、電力料金は上昇基調にある。

半面、ビジネスチャンスという考え方もある。オイルショック後、日本の省エネ技術が一挙に花開き、世界に誇れる産業に育った。発明、発見は背後に強いニーズがあるため。ソフト面でも省エネマネジメントなどがもてはやされるようになるかも知れない。

再び、劇的なイノベーション（技術革新）、技術ルネサンスを導くためにも、産業人クラブは新エネルギーや再生可能エネルギーの理解を一段と深めてもらう方針だ。会員にはエネルギー供給会社や関連企業も少なくないが、大半の会員は一般的な需要家。新エネルギーの実態を理解してもらうため、国内外の施設を訪問する機会を数多く設定していく方針だ。

昨年度はバルト3国の産業視察を行った

■磨き合う関係へ

そこで「時代の要請」と「生産活動」と「エネルギー供給」を重要なキーワードにした事業を展開する。すでに、九州電力の「八丁原地熱発電所」（大分県）を見学したが、これに続く第2弾として10月には米国・ハワイ州のハワイ島を訪問し地熱発電所、風力発電所の見学を予定している。産業人クラブらしく、エネルギーの需要家と供給企業に相互理解してもらう観点で、他団体とはひと味違うエネルギー関連事業に取り組む。会員同士が宝石となり研磨石となるような、磨き合う関係の確立を推進していく。

概　要

◇1983年（昭58）3月8日設立　会員数135人

◇事務局所在地 ＝ 広島市中区幟町13の11　明治安田生命ビル

◇電話 ＝ 082・511・7111

特集・挑戦する日本の経営者たち

会長インタビュー

「再生可能エネ」実態を理解

田村 興造 氏

（広島ガス社長）

中国四国産業人クラブの田村興造会長（広島ガス社長）は、常に産業人クラブを積極的にリードする「行動する会長」として会員の信頼も厚い。一方、本業では「広島ガスグループ20年ビジョン」の着実な実践を通じて経営手腕を発揮。社内外からの高い評価を受けている。日本経済の再生、デフレからの脱却を目指した安倍晋三政権の経済政策「アベノミクス」の三本の矢「金融緩和、財政出動、成長戦略」が放たれた。成長戦略では、新しい矢の準備もあるようだが、いずれにしてもエネルギー問題と密接に関係する。新しいエネルギーファクターのもとで、経済はどう動くのか。今年度の事業計画で「エネルギー問題を考える」を掲げた中国四国産業人クラブで、エネルギーを知ることの意義などを田村会長に聞いた。

―今年度は太陽光、風力、地熱、小水力発電など再生可能エネルギーの見学会などを活動方針の一つにしています。

「当産業人クラブ会員の中にはエネルギーの供給会社もおありですが、風力発電などさまざまな電源を実際に見ている方は意外と少ないのではないでしょうか。これらをはじめ非在来型エネルギーの登場に注目が集まる中、当産業人クラブは、まず、会員のみなさまに再生可能エネルギーの実態を知ってもらうという事業計画を立てました」

―具体的な見学先は決まっていますか。

「昨年は中国電力様の福山太陽光発電所（広島県福山市）をみせていただきました。本年は7月上旬、九州電力様の八丁原地熱発電所（大分県九重町）をみせていただきました。わが国最大規模の地熱発電所です。この流れで10月下旬には世界最大級の地熱発電所のある米・ハワイ州のハワイ島を訪問する予定です。ハワイ島では風力発電所やスバル天文台も見学します」

―電源のほかに、化石燃料や環境問題、エネルギー安全保障など、エネルギーは大変幅広い問題ですが。

「原子力発電所の多くを停止している日本においても、シェールガス、シェールオイルなどの非在来型エネルギーが注目を集め、エネルギー動向に少なからず影響を与えております。また、化石燃料の使用が増加する中、環境問題、特に二酸化炭素の削減は地球規模で取り組まなければならない問題であり、在来型のエネルギーとともに再生可能エネルギーをいかに効果的かつ効率的に使用することが大きなポイントの一つになると考えております。エネルギーについて一つでも二つでも実際に体験いただくことで、会員の皆さまのお役に立つことはもちろん地域経済発展の一助になればと考えておりますので、引き続き、ご支援、ご協力のほど、よろしくお願いいたします」

HIROGAS

思いは、変わりません。

揺れる一点の炎を、一枚の青葉に。
それは地球からの いのちの贈りもの。
変わることで見えてくる、変わらない私たちの思い。
新しい世代の これからを見つめて。
変わらず、この街と。

広島ガス株式会社
本社 広島市南区皆実町2丁目7-1 〒734 8555　TEL 082.251.2151(代表)
www.hiroshima-gas.co.jp

〔中国四国〕
車両試作部品の製造
株式会社 オーエイプロト
代表取締役 大 坪 義 彦
〒739-2502　広島県東広島市黒瀬町クリエイトパーク8番2号
TEL.0823(82)2728　FAX.0823(82)7791
URL：http://oaproto.com/

〔中国四国〕
溶射加工、精密機械加工、軽金属用超硬質表面処理 KURACERA®
倉敷ボーリング機工株式会社
代表取締役 田 尻 さや香
〒712-8052　岡山県倉敷市松江2-4-20
TEL.086(456)3877　FAX.086(455)1591
URL：http://www.kbknet.co.jp/

〔中国四国〕
広告デザイン・印刷
有限会社 イシモト写植
代表取締役社長 石 本 忠 廣
〒733-0037　広島市西区西観音町1-6
ライオンズマンション平和大通り102
TEL.082(295)5511　FAX.082(233)0588

〔中国四国〕
小型工作機械製造／電装品製造など
シージーケー株式会社
代表取締役社長 下河内 一 成
〒732-0052　広島市東区光町2-9-4
TEL.082(261)9235　FAX.082(263)7506
URL：http://www.cgk-corp.co.jp/

〔中国四国〕
グラビア印刷機およびラミネーター・コーター、金属印刷機
富士機械工業株式会社
代表取締役社長 和 田 隆 雅
〒739-0146　広島県東広島市八本松飯田2-7-1
TEL.082(428)2450　FAX.082(428)2456
URL：http://www.fujikikai.co.jp

〔中国四国〕
鉄軌道事業、バス事業、不動産事業(土地建物の販売・賃貸)
広島電鉄株式会社
代表取締役社長 椋 田 昌 夫
〒730-8610　広島市中区東千田町二丁目9-29
TEL.082(242)3521　FAX.082(242)3592
URL：http://www.hiroden.co.jp/